

2005 年 1 月 28 日

富士通フロンテック株式会社

ソフト・サービスビジネスの強化について

～ 富士通フロンテックの新たな挑戦 ～

昨年 11 月 30 日に発表いたしました通り、当社は今般 2 月 1 日の事業再編によりハードの開発・製造主体のビジネスにソフトウェア事業を加えシステム開発からサービス業務まで一貫した新体制を構築いたします。この新体制のもと、結集した S E の開発パワーによりソリューション力を強化し“ユビキタス社会の実現に貢献できる商品”の提供と更なる収益の確保に全力をあげて取り組んでまいります。

これにより、2 月 1 日付で新たに子会社となる(株)富士通ターミナルシステムズ(前橋市、同日付で(株)富士通フロンテックシステムズに社名変更予定、従業員 540 名、以下 F J F S)より S E を中心に約 250 名を当社に出向とし、この人員を中核としてソフト・サービス事業本部を設置いたします。このため本年 4 月に大宮にソフト・サービスの拠点を新設いたします。

以上のことから、新 F J F S 290 名とあわせて富士通フロンテックグループ全体のソフト・サービス事業は 900 名体制となります。この新体制の確立により、短納期、高信頼性、高付加価値のソリューション商品を提供し、お客様の満足度向上に努めてまいります。

ソフト・サービス事業本部新設のねらいと具体的な事業内容は以下の通りです。

1. 新技術(手のひら静脈認証、RFID など)を活用したソリューションビジネスの戦略的な展開
2. ATM、POS など従来ビジネスの効率化とソリューション商品のスピーディな提供
3. LCM(ライフサイクルマネジメント)ビジネスの強化・拡大

ATM・金融

当社、F J F S 各々に分散していたソフト開発、S E 部門を統合、効率化し ATM 関連システムをスピーディに提供

流通(POS など)

当社、富士通、F J F S の 3 社に分散していたソフト開発、S E 部門を統合し、モバイル端末システムを含めたソリューション商品を提供

産業・公共・基盤(新技術など)

新技術(手のひら静脈認証、RFID など)を活用した新たなソリューションビジネスを金融機関以外の分野にも積極的に拡販

エンベデッド(組込み)システム

携帯電話やモバイル端末などの情報機器に組込まれるファームウェア、ミドルウェア、アプリケーションの開発

サービス(LCM)

ATM アウトソーシングサービス(当社)、POS ヘルプデスクサービス(富士通)、これらに関連するシステム開発(F J F S)の 3 部門を統合し、LCM を強化、拡大

ソリューション分野	内 容
A T M	・自動機(ATM)関連システム
金 融	・営業店システム ・証券システム
流 通	・POS およびモバイル端末機システム
産業・公共・基盤	・表示、医療システム ・手のひら静脈認証および RFID の産業向けシステム ・ネットワークおよびサーバシステムなどの情報インフラシステム
組 込 み シ ス テ ム	ATM、POS、通信機器、携帯電話、モバイル端末向けシステム
サ ー ビ ス	ATM アウトソーシングサービス、POS ヘルプデスクサービスなどの LCM

このようなソフト・サービスビジネスの強化を踏まえて、以下の重点施策を行い事業を展開いたします。

< お客様が満足する商品とサービスの提供 >

金融・流通向け商品の短納期化、高信頼化を推進すると同時にお客様の T C O 削減のための L C M 型ソリューションを提供する。

- ・ハード・ソフトの徹底した効率化と品質の安定化
- ・A T Mアウトソーシングサービス、POS ヘルプデスクサービスの提供

表示、医療、せりなどのシステム商品とソフト・サービスを融合した新商品の提供を積極的に展開する。

< 新規ビジネスの創出および拡大によるユビキタス社会への貢献 >

先端技術による新市場、新分野事業の拡大を推進しユビキタス社会に貢献する。

- ・手のひら静脈認証・・・金融機関のデファクトスタンダードを目指すとともに他の分野への拡販を行う。

(他の分野：入退出管理、パソコンのログインなど)

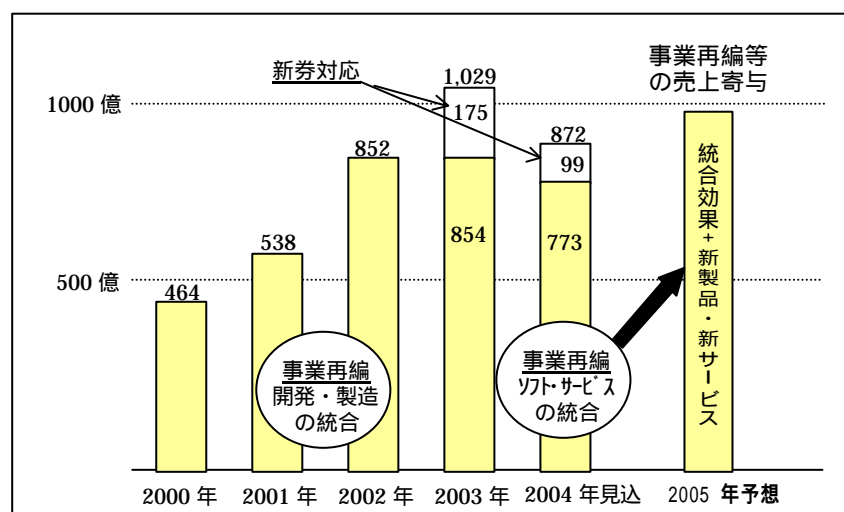
- ・R F I D・・・・・・2007 年は 100 億円規模(富士通と富士通フロンテックの連結)のビジネスを目指す。
- ・e 文書・・・・・・e 文書法施行後に向けてビジネス拡大を目指す。

< グローバル市場への商品提供 >

I T 基盤の整備を背景に成長を続ける中国市場にメカコンポーネントおよび通帳プリンタ機器などを提供し、また、欧米、アジア市場には自動機における N C R とのアライアンスによるグローバルコンポーネントを提供する。

(ご参考) 当社の過去 5 年間の連結売上高の推移と 2005 年度予想

新規ビジネスの新商品(手のひら静脈認証装置・RFID など)、新サービス(ATM アウトソーシングなど)の L C M 立ち上げ、および今回の事業再編(ハード・ソフト・サービスの一貫体制構築)による統合効果は 2005 年度から本格的に業績に寄与すると予想しています。



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

企画広報室

電話：042-377-2544(直通)

E-mail: ir@frontech.fujitsu.com

以 上